都留一中ＰＴＡ新聞

校訓『勉学・勤労・規律』

瓦版 KAWARABAN

第１号
平成３０年　７月１７日
発行責任者
平成３０年度広報委員会

ＰＴＡ会長あいさつ

ＰＴＡ会長　宮澤　哲児

新年度になり四か月あまりが過ぎました。子供たちも新しい環境に慣れてきたことと思います。この度、四月の総会で承認を頂き今年度のＰＴＡ会長を務めさせて頂く事になりました。保護者の意見や希望を学校側へ、また学校教育の整備について関係機関に働きかけ、よりよい学習環境を整えていけるよう、役員の皆様や先生方と協力して活動していきたいと思います。

先日、支部総合体育大会が行われ、私も子供たちの全力でプレーする姿を見せてもらいました。三年生からは今までの頑張りをすべて出し切ろうという気迫が感じられ、一中生徒一丸となった応援の声が体育館に響き渡る様子に、本当に感動しました。これまでの悔しい思いや自分との葛藤を乗り越えながら、目標に向けて練習に励みやり抜く力を身につけられた事はとても価値のある経験になったことと思います。県大会での活躍にも期待しています。

中学三年間は様々な活動を通して責任感や協調性を養い、社会人になるための基礎を築き自分を成長させるとても大事な時期だと思います。私たち保護者は、中学三年間を有意義なものにしてほしいと願っています。子供たちの健やかな成長を願う一方、現在子供たちを取り巻く社会環境の変化は著しく、様々な不安要素があります。

ライフスタイルの変化によりそれぞれの家庭での価値観も多様化し、当たり前と思われていた規範意識も同じでなくなってきました。地域の大人と子供が会話や触れ合う機会も少なくなり、地域における家族間の付き合いも減ってきているように思います。情報化社会が進むことでますます子供同士の会話も減ってしまうのではないでしょうか。スマホが急速に普及し子供たちにも身近なものになりましたが、様々な情報が簡単に手に入るようになった反面、有害な情報も溢れており不安も絶えません。ＳＮＳをきっかけとした子供たちの犯罪被害は増加し続け、重大な社会問題になっています。このような犯罪を未然に防ぐためにも保護者が問題意識を持ち、子供たちに語りかけ、生活の中で変わった様子はないか目配り気配りすることが必要だと思います。親子で共有する時間を増やすよう心掛けていきたいものです。そして、保護者の皆様、先生方、地域の方々と連携を取りながら子供たちを見守っていきたいと思います。

一年間よろしくお願いします。

学校長あいさつ

『部活動の在り方 ～好きなことを続けるために～』

校長　梶原　勝由

今年三月に「やまなし運動部活動ガイドライン」が策定された。以下はガイドラインの内容である。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動は、学校教育の一環として行われ、本県のスポーツ、文化、科学等の振興を大きく支えてきた。しかし、部活動については、部活動指導が教員の長時間労働につながっていることや、適切な休養を伴わない行き過ぎた活動による授業への影響やスポーツ障害の懸念など、様々な課題が指摘されている。

運動部顧問及び外部指導者は、スポーツ医・科学の見地からトレーニング効果を得るために休養を適切に取ることが必要であること、また、過度の練習がスポーツ障害・外傷のリスクを高め、必ずしも体力・運動能力の向上につながらないこと等を正しく理解するとともに、生徒の体力の向上や、生涯を通じてスポーツに親しむ基礎を培うことができるよう、（…略…）競技種目の特性等を踏まえた科学的トレーニングの積極的な導入等により、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。

学期中は、週当たり二日以上の休養日を設ける。（平日は少なくとも一日，土曜日及び日曜日は少なくとも一日以上を休養日とする。）生徒の一日の活動時間は、長くとも平日では二時間程度，学校の休業日（学期中の週末を含む）は三時間程度とし、できるだけ短時間に合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

“健全なる精神は健全なる身体に宿る”と云う諺がある。好きなことを続けることで忍耐力と健康な体を形成できる。本校では平日の活動二時間、遅くなっても六時半には帰宅、週二日は休養できるように配慮している。ご理解いただきたい。

専門委員会委員長あいさつ

校外指導委員会

星野　昌美

校外指導委員会の活動は、地区懇談会の開催です。

今年度より、地区懇談会は全体を三地区に分け、六月二〇日に三会場で開催するスタイルに変更いたしました。各会場ごとに地区役員の中で運営担当者を決め、準備・進行をお願いいたしました。

地区懇談会では、先生から学校での様子などをお話しいただき、学年ごとに分かれての懇談を行なっていきます。

各会場の規模が前年度までより大きくなり、進行に関しましても心配なところがありますが、保護者同士や先生方との有意義な交流の場となれば良いと思います。皆様のご協力をお願いいたします。

ボランティア委員会

大津　英明

今年度のボランティア委員会は開地地区が担当させてきただきます。よろしくお願いいたします。

今年度もボランティア委員会では「親子美化作業」を例年通り夏休み期間中に実施いたします。

日時は八月十八日（土）七時三〇分からを予定しております。朝早くからお集まりいただく事となりますが、涼しいうちに作業を終わらせたいと考えております。

子供たちがよりよい環境の中で充実した中学校生活過ごせるように、親子および先生方と協力し有意義な活動にしたいと思います。

お忙しいところ申し訳ありませんが、保護者の皆様のご理解と美化作業へのご参加、ご協力をお願いいたします。

教養委員会

熊谷　利香

今年度の教養委員会は、谷村第二地区が担当させて頂きます。

教養委員会の活動としましては、例年通り「すみよし祭体育部門」ＰＴＡ種目の玉入れ競技を行う予定です。皆様のご参加を心よりお待ち

しています。子どもたちの一大イベントすみよし祭を親子で一緒に楽しみましょう。

教養委員の皆様、先生方、保護者の皆様のご協力を頂きながら、一年間取り組んでいきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

広報委員会　関戸一二三

今年度の広報委員会は、田原地区で担当させて頂く事になりました。都留一中ＰＴＡ新聞の広報誌である『瓦版』を、今年も年三回の発行が出来るよう活動をしていきたいと思います。広報委員会では、普段見る事が出来ない子供達の行動や学校行事、ＰＴＡ活動などを誰にでも興味を持って頂ける『瓦版』を作っていきたいと思います。作成については、皆様に原稿などを依頼するかも知れませんが、その時は、よろしくお願い致します。

学年部会長のあいさつ

一学年部会長　有川　佳子

今年度、一学年部会長を務めさせて頂きます、有川です。よろしくお願いします。

少し大きめの制服を身にまとい、桜の花びらが舞う校門をくぐった入学式から三か月。自然体験学習、中間テスト、総体など、たくさんの「初めて」を経験し、校歌も歌えるようになり、都留一中生になったことを実感しているようです。

中学生時代に学び、身につけてほしいことはたくさんありますが、焦らず、確実に一歩ずつ歩んでいけるよう、保護者、先生方と連携して見守っていきたいと思います。

不慣れで至らない点もあるとは思いますが、皆様のご協力を頂いて頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

二学年部会長　富永　芳江

今年度、二学年部会長を務めさせて頂くことになりました富永と申します。一年間よろしくお願い致します。

先日行われた社会体験学習では、生徒たちで計画を立て、班行動での活動等を行い、充実した二日間となったことでしょう。体験学習で学んだことを今後に生かし、さらに充実した学校生活を送ってほしいと思います。

先生方、保護者の方々のご指導、ご協力を頂きながら一年間頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

三学年部会長　奈良　育子

新年度が始まり、新しいクラス、新しい仲間、新しい先生とスタートした三学年。義務教育の最終学年であり、都留一中の代表として取り組んでいかなければなりません。

一学期の大きな行事、修学旅行。事前学習から始まりそれぞれがかけがえのない思い出を作ってくる事が出来たでしょう。学校のホームページではタイムリーに子供達の様子を知ることができ、保護者の方も楽しみに閲覧できたと思います。

二学期には、すみよし祭。最終学期には高校受験です。親子共々多忙な一年になると思います。十五の春を笑顔で締めくくる事ができるよう本気で取り組んで行きましょう。

先生方、保護者の皆様にご理解とご協力を頂き、不慣れではありますが一年間よろしくお願い致します。

生徒会長のあいさつ

生徒会長　神戸奏人

私は、今年度都留第一中学校の生徒会長を務めております神戸奏人です。

今年度の都留第一中学校生徒会スローガンは「共律共助」です。その三本柱として「共に助け合い、学びあう授業」「共に律し、認め合う生活、行事」「共に励み、高め合う部活動」の三つを掲げ、現在の一中の問題点を一つずつ解決していき、良いところを受け継ぎ、より良い一中を目指せるように、生徒会本部を中心に学校全体で取り組んでいきたいと思います。

一学期も終わりが近づき、本格的に「すみよし祭」の準備が始まっています。一中最大行事である「すみよし祭」を成功させるために全校生徒一丸となり、全力で取り組んでいきます。一中の伝統である「合唱」や、「無言集合」などを引き継ぎ「さすがは一中生」と言っていただけるように生徒全員、精一杯がんばります。保護者の皆さんや地域の方々にも御協力をよろしくお願いします。

豊かな体験の中で成長できる夏休みを！

生徒指導主事　三枝　幸一

二〇二一年度より新学習指導要領による学校教育が始まります。これからの時代を生き抜いていく子どもたちにどのような力が必要なのかが、この中には書かれています。

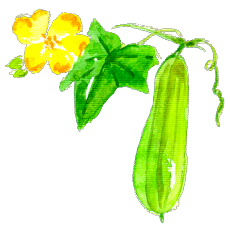
今回の方針で重視されているのは、まず、「学んだことをどのように生かし、どのような社会を創ろうと思うのか」ということです（人生で生かすことのできる知識と技能）。また、知識と技能を生かす上では、生かし方を考える力、周囲との協力関係の中でお互いの考えを伝え合う表現の力が必要です（思考力・判断力・表現力）。そして、一つのことがすぐ古くなり新しいことが次々と生まれる変化の激しい時代、学び続ける心の力こそ重要であると考えられるようになっています（学びに向かう力・人間性等）。

そこで考えてみたいのです。私たち大人は、「なぜ学ぶのか？」の問いを、子どもたちに真剣に問うているのだろうかと。一生懸命学んで手に入れた結果や力をどのように生かしていくつもりなのか、と問う働きかけや学習指導をしているのだろうかと。

いよいよ夏休みがやってきます。学校を離れ、家族や地域が中心の生活となります。お盆のような年中行事もあり、家族や親族と共に、自分の命に連綿と続く命のバトンを実感できる季節でもあります。長い人類の歴史の中で、自分に続く命のたった一つでもなかったら自分はこの世に生まれていなかった。そのことだけでも、今生きていることは奇跡的な出来事だと言えるかもしれません。せっかくこの世の中に生まれてきた自分の命をどのように使おうと思うのか、そんなことを夏休みのいろいろな体験の中で話し感じられるのも、素敵な夏休みなのではないかと思っています。

編集後記

四月の新学期から始まりもう少しで夏休みを迎えます。生徒達は、それぞれ学校行事を無事に終えることが出来たと思います。子供たちが安全で楽しい思い出を作れることを心より願っています。今回、原稿の依頼をさせて頂きました皆様方には、お忙しい中快く承諾して頂きありがとうございます。皆様方のご協力により無事に『瓦版』第一号を発行する事が出来ました。編集にあたり、色々とご尽力して頂きました広報委員の皆様、担当の先生方に感謝致します。第二号の『瓦版』もお楽しみに。

委員長　関戸一二三
副委員長　天野角子
委員長　外川いづみ
委員　亀田めぐみ
委員　小俣幸子
委員　小高広恵
委員　錦織裕子
委員　古屋典子
委員　田村恵理
委員　奥脇優子

担当教諭　小澤ゆり
担当教諭　上杉弥生
担当教諭　渡邉文香
担当教諭　宮下絵美
担当教諭　數野慶